

編集協力：加賀市、金沢市、
石川県都市計画課(景観形成推進室)
発行：石川県土木部都市計画課
TEL: 076-225-1757 FAX: 076-225-1760
HP: <https://www.pref.ishikawa.lg.jp/toshi/toshiseisaku/news.html>
発行日：令和7年3月

いしかわ まちづくりNews

ニュース

No.2

目次

- 特集 ペダルでつなぐ持続可能なまちづくり in 加賀 …1
- 木が彩る歩行空間創出事業 …3
- いしかわ景観大賞について …4

特集

まちづくりシンポジウム in 加賀



ペダルでつなぐ 持続可能なまちづくり in 加賀



1 はじめに

多角分散型の都市である加賀市にとって、自転車は通勤や通学などの日常利用だけでなく、観光周遊においても有効な移動手段の一つです。北陸新幹線が開業した今こそ、自転車利用を促進するため、インフラ環境整備や利便性の向上が必要です。本市では「加賀市自転車のまち推進計画」を策定しており、地域まちづくり団体や観光事業者、行政も一丸とな

り、官民連携による自転車のまちづくりが求められています。

そこで、「ペダルでつなぐ持続可能なまちづくり in 加賀～自転車ライフを世代を超えて考える～」をテーマにまちづくりシンポジウムを開催しました。

なお、開催に際しては、県および県内各市によるシンポジウム開催への支援制度を活用しました。

2 開催概要

- 開催日時：令和6年10月19日（土）
- 開催場所：クロスガーデン加賀 4階ホール
（石川県加賀市小菅波町1丁目130）
- 内容：基調講演、グループワークショップ

3 基調講演

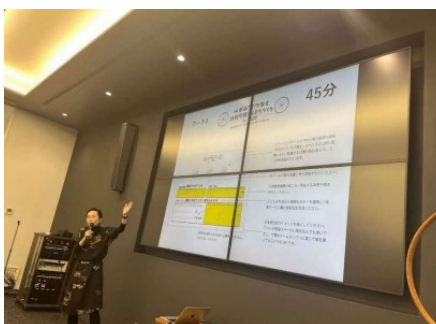
自転車評論家の疋田智氏を招き、基調講演を行いました。「オーストラリア、中国、そして日本。国内外で今起きている自転車交通革命」というテーマのもと、まちづくりに自転車を活かしている各国の事例を交えながら具体的に解説いただきました。日本国内での自転車交通の課題や改善策について、参加者と共に考える場となりました。



▲自転車用木製リム（左）、オーディナリー型自転車（右）

4 ワークショップ

多摩美術大学・東京工業大学のソーシャルデザイン講師の田中美帆氏を招き、ワークショップを開催しました。参加者がグループに分かれて意見交換を行いました。各グループで、地域資源の活用方法や課題解決のアイデアを話し合い、それぞれの視点から具体的な提案がまとめられました。このワークショップを通じて、地域住民の視点と専門家の知見が交わり、新たな発想が生まれる場となりました。



▲ワークショップの様子



▲グループディスカッション



▲大人に混ざり小学生も参加



▲グループごとに発表

5 参加者の声

- ・初対面の方々でしたが、同じテーマがあれば話が弾み、良い経験ができました。
- ・日頃考えることのないキーワードに触れることができ、良い機会になりました。
- ・時間を忘れ、楽しく参加できました。

6 おわりに

本シンポジウムで、参加者が地域の未来、自転車ライフを世代を超えて考えることができ、貴重な機会となりました。

自転車は、地域の交通や健康、環境意識を高める上で非常に重要な手段です。本シンポジウムを契機に、地域全体で持続可能なまちづくりを進める動きが、さらに広がることを期待しています。

【問合わせ先】

加賀市産業振興部観光商工課

TEL:0761-72-7900

E-mail:yukyaku@city.kaga.lg.jp

木が彩る歩行空間創出事業

1 はじめに

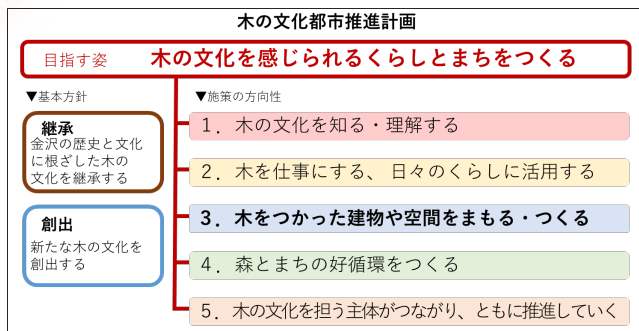
金沢市では、まちづくりに木の持つ特性を活かし、持続可能で豊かな都市を目指す「木の文化都市・金沢」の取組を進めています。

木の文化とは、「まちに木の質感を醸し出すすべてのもの」と条例で定義しており、これまでも大切にしてきた金澤町家や庭園文化などを継承するとともに、新しい木造建築やまちなかの木質化などによる創出を行う「継承・創出」の両面から木の文化を推進しています。

2 事業概要

令和5年4月より「金沢市木の文化都市推進計画」に基づく取組を進めており、同計画では、「木を感じられる暮らしとまちをつくる」を目標とし、取組の方向性を5つ定めています。

その一つである「木をつかった建物や空間をまもる・つくる」に関する具体的な取組として、金沢駅東口から武蔵ヶ辻までの公共空間を木質化する「木が彩る歩行空間創出事業」を進めております。



3 整備内容

本事業にかかる最初の工事として、金沢駅東広場内の木質化を行いました。金沢駅東広場内の柱のうち、バス停の位置を示す柱（N=11箇所）と、駅を出て正面のバス時刻などを案内する総合交通案内板（N=1箇所）に木製の飾りを設置しました（R7.2完成）。

木製の飾りにより、金沢駅東広場の利用者に木の文化を感じてもらい、総合交通案内板からバス停へと自然に視線が誘導されることを意図しています。

金沢駅東広場は、もてなしドームと鼓門により構成された空間が特徴的であり、今回の整備ではこれらの構成を乱さず、かつ木が感じられることに配慮し、整備を実施しました。

木材はいずれも、金沢産材の杉を使用しています。また、既存の鼓門や駅構内の木部の多くは濃い茶色で塗装されていますが、今回の工事では木部を着色せず、色彩や模様個性を持つ材ごとの特徴を感じられるようにしました。



金沢駅東広場 整備前



金沢駅東広場 整備後

4 おわりに

「木の文化都市・金沢」の取組が始まって、最初の公共空間の木質化となります。今回の整備を通じて、市民や観光客など多くの人が木を感じながら、まちに誘われることを期待すると共に、今後も木の文化都市・金沢の推進に向けての取組を進めて参ります。

【問い合わせ先】

金沢市都市整備局都市計画課

TEL: 076-220-2321

E-mail: tokei@city.kanazawa.lg.jp



木の文化都市・金沢
ki no bunkatoshi kanazawa

第31回いしかわ景観大賞について

1 はじめに

石川県は、白山や美しい能登、加賀の海岸など多彩な地形が織りなす自然環境を始めとして、のどかな里山、歴史的・伝統的な町の佇まいなど、優れた景観資源を有しています。県では、この優れた景観資源を保全するため、全国初の取り組みとして「景観条例」と「屋外広告物条例」を一本化した「いしかわ景観総合条例」を平成21年1月に施行しました。

「いしかわ景観大賞」は、県民の皆様の景観形成に対する意識を高めることを目的に、良好な景観の形成に顕著な取り組みを行った団体又は個人を顕彰するもので、今年で31回目となります。県民一人一人の景観づくりの取り組みが、ひいては地域の個性を磨き、品格を高め、交流人口の拡大や地域の活性化に大きな効果をもたらすと考えています。

2 受賞作品（第31回いしかわ景観大賞・景観賞）

いしかわ景観大賞

■ 金沢美術工芸大学



▲正面



▲俯瞰

所在地／金沢市小立野

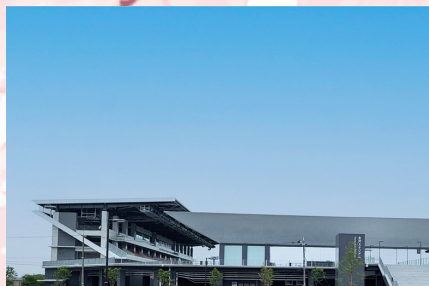
受賞者／【事業者】金沢市

【設計者】SALHAUS・カワグチテイ建築計画設計共同企業体

【施工者】真柄・トーケン・兼六・北川・鈴木特定建設工事共同企業体
城東・ウィルビー・本田特定建設工事共同企業体

選定理由／キャンパス中央にガラス大庇が架けられた広場空間により開放的な印象を与え、芝生のグラウンドや緑化空間、敷地西側の辰巳用水に沿った小径との連続的な設えが魅力的な景観を形成している。

いしかわ景観賞



金沢スタジアム（城北市民運動公園）（金沢市磯部町）

受賞者／【事業者】金沢市

【設計者】株式会社梓設計中部支社、アルスコンサルタンツ株式会社

【施工者】熊谷・植木・鈴木・北陸工建特定建設工事共同企業体

選定理由／スタジアムへと一歩ずつ近づくほどにワクワクした期待感を演出する大階段や、「ウェルカムゲート」により金沢らしいおもてなしが表現されている。



いしかわ動物愛護センター（河北郡津幡町字津幡）

受賞者／【事業者】石川県

【設計者】株式会社織田設計

【施工者】岡・表 特定建設工事共同企業体

選定理由／曲線的な屋根や矩形状のシンボリックなセンターやドッグランがあり、緑豊かな森林公園の景観によくなじんでいる。



北陸新幹線小松駅・小松駅東口広場・Komatsu 九（小松市土居原町）

受賞者／【事業者】独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構、小松市

【設計者】株式会社 JR 東日本建築設計、株式会社日本海コンサルタント

【施工者】奥村・トークン・中東特定建設工事共同企業体

奥村・トークンリンク特定建設工事共同企業体
加越建設株式会社、横山建設株式会社

選定理由／霊峰白山の山並みとその麓をイメージし、広場と駅舎が白を基調とした北陸特有の冬景色を表現している。



加賀依緑園（加賀市山中温泉南町）

受賞者／【事業者】加賀市

【設計者】株式会社田淵建築設計事務所 加賀設計室
アルスコンサルタンツ株式会社

【施工者】株式会社ミヤジマ建設

谷口・ミヤジマ特定建設工事共同企業体
有限会社グリーンサービス加賀

選定理由／近代和風建築の佇まいを再現した山中温泉ゆげ街道の新たなシンボルであり、建物を取り囲む庭園は四季折々の美しい景観を楽しむことができる。



岡田研磨株式会社 高松工場（かほく市高松）

受賞者／【事業者】岡田研磨株式会社

【設計者】株式会社 MAC 建築研究所

【施工者】株式会社前川工務店

選定理由／大規模工場でありながらも木造構造とし、山並みの稜線に溶け込むよう、低層・水平ラインを強調したデザインである。

【問合わせ先】

石川県土木部都市計画課 TEL : 076-225-1759

E-mail: toshikei@pref.ishikawa.lg.jp